

# 物流の効率化や地域経済の発展に寄与

群馬、栃木、茨城3県で、多くの工業団地が整備され、雇用機会の創出など、地域経済の発展に寄与しています。

## 群馬県・栃木県・茨城県の声

群馬県では、北関全線開通で物流拠点性が一層高まります。近年の工場立地件数が毎年全国4位以上で、多くの企業に選ばれています。

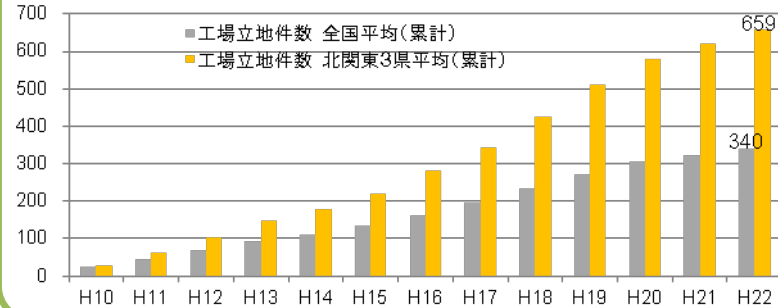
栃木県では、今後の企業誘致において北関の全線開通に大きく期待、平成24年分譲開始予定の「みぶ羽生田産業団地」など沿線での企業立地に期待しています。

茨城県では、ICを内包する茨城中央工業団地や北関が直結する茨城港常陸那珂港区の港湾関連用地や近接工業団地等があり、北関の全線開通が沿岸地域への新規立地に繋がることを期待しています。

2010年工場立地件数において、北関東3県は上位に位置しています。

**【1位】群馬県、【5位】茨城県、【7位】栃木県**

平成10年以降の立地件数の推移(累計)



立地件数は群馬・栃木・茨城の北関東3県の平均および全国平均の平成10年以降の累計値である。  
※出典：工場立地動向調査（経済産業省）

